

学校だより

横浜市情報ネットワーク(YY ネット) 上に本校のホームページがあります。

横浜市立十日市場小学校

7月号

電話:981-0420 FAX:983-1694

緑区十日市場町 1392-1 番地

伝え合い、教え合い、学び合い

副校長 井上 智恵子

木々の緑が深みを増し、梅雨明けが待たれる頃となりました。今年は夏休みが少し先になりますが、7月からは給食が始まり、通常の学校生活に戻ります。

体育館の入り口手前にツバメの巣があります。毎年春になるとここにツバメが帰ってきて、卵を産み、子育てをしているそうです。今年の春先にもかわいいヒナが5羽生まれ、この巣で育ち、先日、巣立っていきました。

巣立つ数日前の朝、校舎の見回りに行った時のことです。ヒナたちは親鳥がえさを運んできたのがわかるのか、一列に巣のふちに顔を並べ、親鳥のいる方を見ていました。親鳥が近づくと一斉に体を伸び上げらせ、黄色いくちばしを大きく開けました。その姿がとてもかわいいので、「みんなにも知らせたい！伝えたい！」と思い、朝会でこのツバメの話をしました。



朝会の後あるクラスでは、「あのツバメ知っているよ。」「もういないみたいだから、飛んでいっちゃったのかな。」など、興味をもって話していたようです。

自分の気づいたことや感動したこと、発見したことなどを友達やクラスの人に話すことで、会話が生まれます。友達が知っていることを教えてもらったり、一緒に共感したりすることができます。学校にはたくさんの方がいます。自分と同じ考えの人もいれば、全く違う考え方をする人もいます。同じ考えの人とは共感できることで、自分の考えに自信をもつことができます。違う考えの人からは、新しい発見があります。違う考えを否定するのではなく、受け入れて自分の考えをより深めていくことができるとよいと思います。

休校が長かったことで、この当たり前の学校での学び合いの形が、今とても大切であると改めて感じています。教科書の勉強だけでなく、いろいろなことを伝え合い、教え合うことを通して、豊かな学びにつなげていけるとよいです。

クラスみんなが集まって学習することができるようになって、2週間が経とうとしていますが、学校は全体的に落ち着いていて、学習に集中して取り組む姿が見られます。学校では引き続き、マスクをつける、手をよく洗う、密にならないように気を付ける…など、子どもたちに感染予防対策を意識して行動するように声をかけながら、学校内の換気や消毒に努めていきます。

保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。